



# 余養だより

令和5年4月14日  
第1号(189通巻号)  
北海道余市養護学校発行

「生きる力」「生きる喜び」を培い、豊かな自己実現の育成をめざして

校長 柏木 拓也



保護者の皆さまをはじめ、地域、関係者の皆さまの御理解と御協力のもと、本校は新入学生を含め107名で無事に令和5年度をスタートすることができました。有難うございます。

今年度、余市養護学校は33年目を迎え、学校教育目標である「生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる」として、児童生徒、保護者、教職員、地域の方々、関係する機関等の方々から信頼・感動・協力の下に共に学び、共に育つ学校づくりを一層推進してまいります。

具体的には、

- ・主体的に学び 考え 表現する 児童生徒を育てる
- ・個性や良さを発揮し、互いに認め合う 児童生徒を育てる
- ・地域で 健やかに生活し 社会参加する 児童生徒を育てる

ことを具体目標として掲げています。

また、今年度の重点教育目標は「児童生徒の将来を見据え、地域とのつながりを大切にした体験的で実際的な魅力ある教育を推進する」とし、

- ① 児童生徒一人一人に応じ、学習指導要領を踏まえた教育課程の編成・改善
- ② 自立活動の指導の充実
- ③ 卒業後の生活を見据えた指導の充実
- ④ ICT等の効果的な活用
- ⑤ 健康で安全な生活

を実現に向けた五つの重点としています。

さて、これまで、新型コロナウイルス感染症対策に関わる教育活動についても、基本的な感染症対策はもとより、感染状況により行事や校外学習などの実施に関わる制限や保護者や関係者の皆様の人数制限、学習集団の少人数化など、感染症対策・拡大防止対策を講じながら取り組んできたところです。

この春からの国や道の動向を踏まえながら、今年度の学校経営にあたり、ポストコロナに向けた中で、「地域とのつながりを大切にした体験的で実際的な」学習活動の実現に向けて、「学校運営協議会（コミュニティスクール）」を一つの柱にしながら、地域の中で育つ子どもとして、地域はもう一つの学校として様々な具体化を図っていきたいと考えております。保護者・関係者の皆さまからも積極的に御意見やアイデアをいただきながら、教育活動の充実に努めてまいります。

終わりになりますが変化の多い時代に生きる子どもたちのため保護者の皆さま、地域の皆さま、関係機関の皆さまには、引き続き本校教育への御理解と御協力をお願い申し上げます。